



交通環境の明日について、アイシングループ7社の労使で議論  
(2010年11月25日)

当社をはじめとするアイシングループ7社※と各労働組合は、11月23日(火)安城市文化センターで「交通環境づくり」をテーマに「第40回オールアイン労使政策制度フォーラム」を開催し、アイシングループの従業員や一般の方々、約440人が参加しました。

第1部では、名城大学 工学部教授の松本幸正氏が、交通渋滞の解消や移動しやすい交通体系の整備など「人にも環境にもやさしいまちづくり」には、行政・企業・市民の相互連携がいかに大切かを説かれました。

第2部のパネルディスカッションでは、松本氏、近隣の市議らにより、エコ通勤など環境にやさしいライフスタイルである「エコ モビリティライフ」※2の事例紹介・実践提案など、車社会の現状と今後の姿について活発に議論が交わされました。

また、愛知県警察本部の伊藤 学氏より交通安全のポイントや道路交通法の改正点などがわかりやすく紹介され、聴講者の交通安全に対する更なる意識向上へとつながりました。

参加者からは、「渋滞が交通事故につながっているとは知らなかった。車に頼りすぎない生活を心がけようと思う。」「環境にも体にもやさしい“エコ通勤”を可能な範囲で取り入れてみます。」など、自らができることから始めようという声が聞かれました。

アイシングループは、今後も良き企業市民として、地域に身近に関心の高いテーマについて、ともに考え、ともに行動していきます。

※1 アイシン精機株式会社、アイシン高丘株式会社、アイシン化工株式会社、  
アイシン・エアダブリュ株式会社、アイシン機工株式会社、  
アイシン・エーアイ株式会社、アイシン辰栄株式会社

※2 環境の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげた言葉。クルマ(自家用車)と公共交通(電車・バス等)、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイルのこと。

### <実施概要>

- 開催日時： 2010年11月23日(火) 14:00～17:00
- 開催場所： 安城市文化センター「マツパホール」(愛知県安城市桜町17-11)
- テーマ： 「人と環境にやさしい安全な交通環境づくり」
- プログラム： 

【第1部】	基調講演 「みんなで取り組もう、人と環境にやさしい交通まちづくり」 <講師> 名城大学 工学部建設システム工学科 教授 松本 幸正 氏
【第2部】	パネルディスカッション 「人と環境にやさしい道路交通」 <パネリスト> 名城大学 工学部 教授 松本 幸正 氏 県警本部 交通安全教育推進室 室長 伊藤 学 氏 豊田市議会議員 庄司 章 氏 安城市議会議員 神谷 昌宏 氏 <コーディネーター> 愛知県議会議員 仲 敬助 氏
- 参加人数： 約440人



名城大学 松本教授による「エコ モビリティライフ」の紹介



人と環境にやさしい交通体系の事例紹介（パネルディスカッション）

＜ご参考＞

「オールアイシン労使政策制度フォーラム」は、社会や地域の中で関心の高いテーマについて、行政・企業・市民がそれぞれの立場で何をすべきかを考え、行動に繋げるためのきっかけづくりをする場として、1991年より年2回(春・秋)開催しており、今回で40回目を迎える。

秋のフォーラムでは、1995年から従業員はもとより周辺地域の方々にも参加を呼びかけ、「市民と地域の身近な政策課題を論議するフォーラム」として、その定着化を図っている。

これまでに取り上げたテーマは、「東海地震」、「地域医療」、「生物多様性」など。

＜秋のフォーラムで取上げた主なテーマ＞

回	テーマ	開催時期	参加者
10	「都市計画を考える」	’95年11月	約230人
12	「健康でいきいきした高齢社会に向けて」	’96年11月	約280人
14	「中学生の教育を考える」	’97年11月	約280人
16	「地球環境を考える」	’98年11月	約290人
18	「介護保険制度を考える」	’99年11月	約270人
20	「少子化対策を考える」	’00年11月	約300人
22	「循環型社会を考える」	’01年11月	約280人

24	「東海地震」	‘02年12月	約460人
26	「愛知万博を考える」	‘03年11月	約400人
28	「安全なまちづくり」	‘04年11月	約400人
30	「現代の教育」	‘05年11月	約420人
32	「これからの街づくり」	‘06年11月	約400人
34	「地球温暖化問題」	‘07年11月	約440人
36	「地域医療」	‘08年11月	約460人
38	「生物多様性」	‘09年11月	約470人
今回	「交通環境づくり」	‘10年11月	約440人